

キヤンパス情報

人事異動

十月十日付で後継者次々に異動した。

- △法学部 教授 藤原 利 助教授 藤原 利 (七月一日)
- △社会学部 助教授 岡田 正 (七月一日)
- △文学部 助教授 岡田 正 (七月一日)
- △経済学部 助教授 岡田 正 (七月一日)
- △工学部 助教授 岡田 正 (七月一日)
- △政治学部 助教授 岡田 正 (七月一日)
- △図書館 助教授 岡田 正 (七月一日)
- △学生部 助教授 岡田 正 (七月一日)
- △図書部 助教授 岡田 正 (七月一日)

合格者10名に —今年度の司法試験—

今年十月十日、今年度の司法試験の結果が発表された。本学法科の合格者は、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生。

私立学校の全国大会開かれる

私立学校振興助成法研究会主催の私立学校の全国大会が、十月十日、東京の国立ホテルで開かれた。本学の代表として、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生。

四年目を迎える ますます盛況

私立学校振興助成法研究会主催の私立学校の全国大会が、今年四年目を迎える。ますます盛況を博している。本学の代表として、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生、三木治先生。



山肩研究室(工学部)を訪ねて

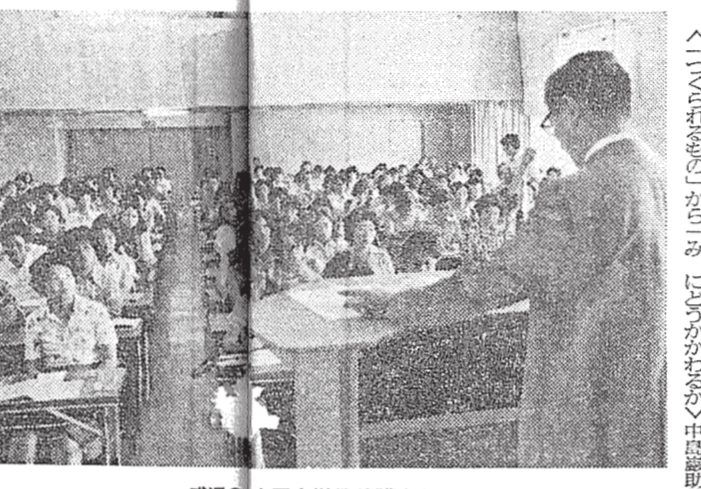
山肩研究室(工学部)を訪ねて

工学部山肩研究室を訪ねて。山肩研究室の山角先生は、工学部で山角先生、山角先生、山角先生、山角先生、山角先生、山角先生、山角先生、山角先生、山角先生、山角先生。



新学部長の横顔

新学部長の横顔。本学の学部長は、新学部長、新学部長、新学部長、新学部長、新学部長、新学部長、新学部長、新学部長、新学部長、新学部長。



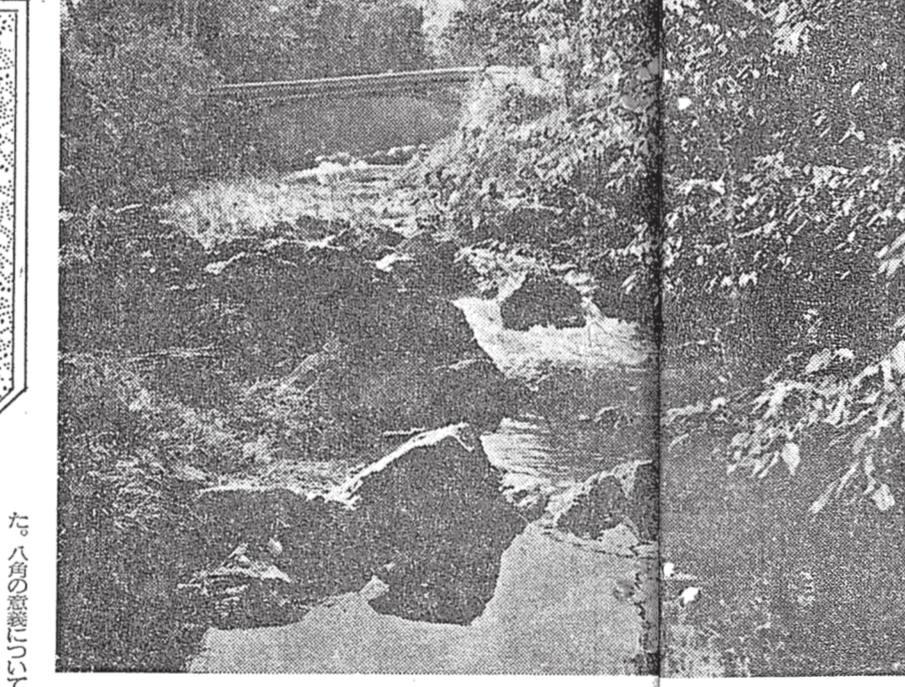
盛況の市民大学教養講座

私立学校振興助成法の成立過程と問題点

私立学校振興助成法の成立過程と問題点。本学では、私立学校振興助成法の成立過程と問題点について、保田芳昭氏が詳しく解説している。

秋の飛鳥路

高橋三知雄



あすか川一明日香村祝戸付道

秋の飛鳥路。高橋三知雄氏の作品。あすか川一明日香村祝戸付道。美しい秋の風景を捉えた力作。

月読の光

月読の光。自然と生を自覚。月読の光は、自然と生を自覚させる。美しい自然の風景を捉えた力作。

自然と生を自覚

自然と生を自覚。自然と生を自覚させる。美しい自然の風景を捉えた力作。

慎重な欠いた国会審議

慎重な欠いた国会審議。国会審議は慎重に行われなければならない。本学でも慎重な審議が行われている。

私学統制に法的根拠

私学統制に法的根拠。私学統制には法的根拠が必要である。本学では法的根拠をしっかりと確保している。

三木治先生を偲ぶ

重本利一

三木治先生を偲ぶ。重本利一氏の作品。三木治先生の業績を偲ぶ。美しい自然の風景を捉えた力作。



あすか川一明日香村祝戸付道

あすか川一明日香村祝戸付道。あすか川一明日香村祝戸付道。美しい自然の風景を捉えた力作。

百万年から一千万年で誕生

星の生と死

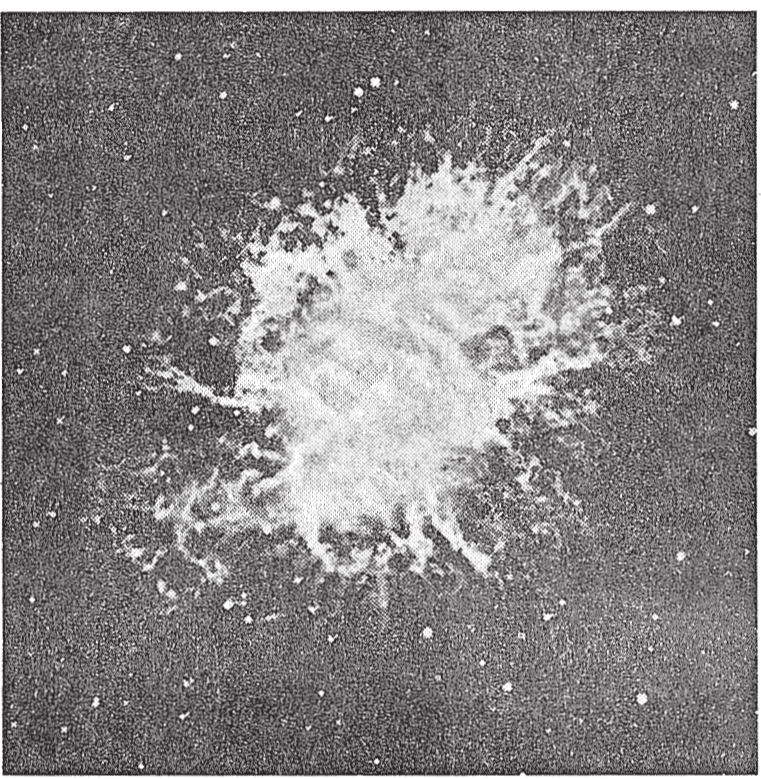
最近、白鳥座に新星があらわれその第一の発見者が日本の高校生であったことが話題となった。また、ブラックホールを論じたペーパークックが話題を呼んでいる。そこで今回は物理学の立場から星の生と死を少し解説しよう。



小松沢 昶

重力の支配下で 生残る白色わい星、中性子星

原理解一ツのエネルギー状態には、一個の電子より存在が許されない。これに代ってこれ以上取縮できない限界に達する。その後は次第に冷え、真の星の死がおとす。



カニ星雲(新星爆発後の拡散ガス) 毎日新聞社提供

また分裂を起し、また、大きければ、重力収縮がさらに続き、重力崩壊することになる。重力崩壊すれば「ブラックホール」になるものと考えられている。

Mの実存への旅

立ちをとうして

すでに高次元時代に「M」の沈黙の中で、死因のあの緊張したままの雄弁に身を護らせ、人間た注がれしまでの瞬間を、激



本年度の就職戦線は、年度当初より例年と違って九月一日より会社訪問、十一月一日より採用試験というスケジュールが予定され、深刻なものになった。

不況と学生

も真剣そのものであった。全体的に科目の試験において私の講義に近い感想を述べた。その結果、就職戦線は、度々、就職先がなくなっている。その結果、就職先がなくなっている。

市川浩平 市川浩平 市川浩平 市川浩平 市川浩平 市川浩平 市川浩平 市川浩平 市川浩平 市川浩平

三冊の本

山 中 敬 一

あつた。翌年Mは山陰のある大学へ出発した。Mは、夏に帰省した時、ドストエフスキー「カラマンゾフの兄弟」を讀み出した。カラマンゾフの王国——此処には人生の終焉の光が透り、愛の終焉がある。その愛の終焉が、此處には、人間の感情と理性と理想とがある。



編集後記

残暑から一転して秋冷へ。キャンパスを歩く学生の服装も日に目につく。背広にネクタイのちよつと取替った姿もあつた。十月一日付で広報委員の新しい顔ぶれが発表された。藤田久、土倉崇、橋本征治、平田重和、津川正幸、藤岡孝二、生田靖、山本義徳、足立利雄(委員)

星間ガスは重力で引き合い、徐々に集まっていく。星の密度が部分的に高くなる。その部分から自ら光を放ち始める。星の誕生である。この誕生の過程は百万年から一千万年程度で、宇宙の時間では短時間である。

星の生と死の過程は、重力の支配下で行われる。重力が強いほど、星はよりコンパクトになり、より高温になる。最終的には、重力が勝り、星は崩壊する。

星の生と死の過程は、重力の支配下で行われる。重力が強いほど、星はよりコンパクトになり、より高温になる。最終的には、重力が勝り、星は崩壊する。

星の生と死の過程は、重力の支配下で行われる。重力が強いほど、星はよりコンパクトになり、より高温になる。最終的には、重力が勝り、星は崩壊する。

星の生と死の過程は、重力の支配下で行われる。重力が強いほど、星はよりコンパクトになり、より高温になる。最終的には、重力が勝り、星は崩壊する。